

NEW CROWN 授業実践事例

BOOK 1 LET'S READ 2 授業例②

T.I. 先生

指導計画表

(全4時間)

時間	学習内容・主な活動
1	p.115~p.117 本文の導入・理解 語句の導入
2	語句の練習 本文の理解・定着
3	語句の練習 本文の理解・定着
4	語句の練習 まとめ

実践例

1. 本单元におけるねらい

本单元は2004年12月26日に発生したスマトラ島沖地震をテーマにした題材である。日本に住む我々にとって、地震や津波などの自然災害は脅威の存在であり、我々の生活とは切り離して考えることができないものである。近年では阪神淡路大震災や東北大震災のような悲惨なニュースを何度も見聞きする機会があり、生徒たち自身が自然災害と安全についてよく考える必要がある。そこで本单元では「自然災害と安全について関心を持つこと」をねらいとし、4時間で授業を構成する。自他の命を尊重するために、災害時における命を守る行動は大変重要であり、その行動がとれるようにこの单元を通して何ができるのかを考えさせる。その際これまで他教科や道徳、総合的な学習の時間に学んだことを振り返り、それを活用させる。本文を読むことに加え、自ら考えさせることで学びの大切さを実感させたい。

2. 授業の流れ

本单元では、これまで学習してきた知識を活用し、「四技能を総合的に育成すること」に視点を置いた授業を目指す。具体的には導入として実際に海外で放送されたニュース映像を見せる。それは実際の映像を見せることで津波の悲惨さを感じさせることに加え、生徒にとって難しい英語を理解可能にするために音声だけでなく視覚情報も与えるためである。

その後本文を読んで書かれた内容を読み取らせる。本文を黙読させる際には途中で区切るのではなく最初から最後まですべて読ませる。こうすることである程度長い分量の英語に触れさせる。英語が苦手な生徒は本文を読むにあたって必要な語彙や文法の説明が書かれたものを参考にできるよう配慮する。内容理解の後は音読練習や Last Sentence Dictation、本文の Reproduction を行い、本文を定着させる。本单元の最後に「もし自分がその場にいたらどのような行動がとれるか」を考えさせる。そ

れぞれが考えたことをグループ内で共有し、その後クラス全体に発表する。ペアやグループで活動するなど学習形態の工夫やスモールステップを踏んだ指導を心がけたい。

1 時間目

本文の導入・理解

- 全体のおおすじをつかむ
- 自然災害と安全について関心を持つ

2 時間目

本文の理解・定着

3 時間目

本文の理解・定着

4 時間目

発展活動・まとめ

- 津波発生時にできることについて考える。
- 実生活での学びの活用について考える。
- 本单元の感想を述べる。

3. 授業の実際

1 時間目

- ①実際のニュース映像を見せ、どんな災害か、どの国で起きたのかなどを質問する。またこのニュース映像を見てどう感じたかをペアで話させる。
- ②新出語句を導入した後に（資料1）を配布する。まずはペアでそれぞれの語句を発音し合い、チェックさせる。その後正確な発音を聞かせ、リピートさせる。その際生徒とのやりとりの中で対義語や同意語なども確認させる。
- ③ピクチャーカードを用意し、本文のCDを聞かせ、話の順になるように絵を並び替えさせる。
- ④個人で本文を黙読し、本文の内容理解をさせる。その後本文の内容に関する True or False と Question and Answer で内容を確認する。質問文

は英語 version と日本語 version を両面に印刷したプリントを用意し、生徒自身が選択してどちらかに取り組ませる。本文を黙読させる際は途中で説明を加えるのではなく、最初から最後まで通して読ませる。

2 時間目

- ①資料 1 の単語シートを使い、ペアで単語の読みをチェックする。90 秒間で日本語から英語にいくつ言えるかを競わせ、負けた方は宿題として単語を 2 回ずつ書かせる。
- ②本文の CD を流して本文の内容を復習させる。その後口頭で Question and Answer を行う。
- ③スラッシュリーディングを行い、ペアで確認させる。その後本文の音読をさせる。

3 時間目

- ①資料 1 の単語シートを使い、ペアで単語の読みをチェックする。90 秒間で日本語から英語にいくつ言えるかを競わせ、負けた方は宿題として単語を 2 回ずつ書かせる。
- ②本文の CD を流して本文の内容を復習させる。本文の内容に関してペアで質問し合う。
- ③ピクチャーカードを示しながら、本文 CD を聞かせる。その際キーワードなど重要な語句を英語でメモを取らせる。それぞれが得たキーワードを挙げさせ、黒板に書く。それらを見ながらペアでそれぞれの絵に関して Reproduction させる。

4 時間目

- ①資料 1 の単語シートを使い、ペアで単語の読みをチェックする。90 秒間で日本語から英語にいくつ言えるかを競わせ、負けた方は宿題として単語を 2 回ずつ書かせる。
- ②本文 CD を聞かせ、Last Sentence Dictation (突然 CD を止め、その直前に聞いた最後の文章を書かせる) を行う。

- ③津波が起こったその瞬間にできることと、津波が発生する前や後にできることを含めて個人で考えさせる。その際これまでに他教科などで学習してきたことに関して振り返るよう指示する。
- ④それぞれが書いたことをグループで共有させる。その際書かれてある英文が正しいかなども含めてチェックする。それぞれの意見をまとめグループごとに発表する。
- ⑤この単元を通して考えたことや感じたこと、また実際に地震や津波が発生した際にどうするかなどを日本語で書かせる。その他に実際の生活において役に立ったと感じたことに関しても書かせる。